

JIMGAnews

第15号

ロンドンでのISO会議について

2013年2月に、ロンドンBSI（英国規格協会）で開催されたISO TC58 SC4（ガス容器使用上の技術規格）会議に出席しました。会議では活動中のWGの進捗状況についてSC4全体会議で報告されますが、個別に、①複合容器の充てん時検査、②各国法規で設計された容器の安全な使用、③鋼/アルミ合金容器の再検査、④RFタグによる容器識別の各WGが開かれました。

RFタグの会議では規格化に向け、大きく前進しました。昨年9月にJIMGA案を盛り込んだISO 21007-2:201Xが作業原案（WD）としてISO事務局から発行されましたが、この原案を新規提案として承認するかどうかの投票が行われました。その結果、投票権のあるPメンバー（会議に積極的に参加し、投票の義務・権利を持つ）22カ国のうち賛成13、反対0、棄権9となり、絶対過半数の賛成により承認されました。棄権の理由は「専門家がない」が多く、「関心がない」というコメントもありました。今後は、他の言語にも翻訳され、委員会原案（CD）として承認するかどうかの投票が行われます。この時には更に投票権のないOメンバー（意見を述べることはできるが投票はできない）からのコメントも出てきますので、すべての質問に回答し、解決して行くことが我々WGメンバーに求められます。



ISO TC58 SC4のメンバー

次回会議は2014年2月にパリで開催予定です。（技術・保安部会事務局・達 嘉樹）

京都でのIHC会議について

IHC（国際整合化）国際会議は、CGA（北米）、AIGA（アジア）、EIGA（欧州）並びにJIMGAが順番に主催し、年に2回開催しています。今年はJIMGAが主催で、3月5～7日に第32回IHC国際会議を京都において開催しました。会議には各協会から最大3名の出席が可能ですが、主催者は出席者数の縛りがないため、今回JIMGA関係からは豊田会長をはじめ7名、また、IOMAからは3名が参加しました。会議では、ISO、国際連合関連の動き、各協会の活動の報告、それぞれのIHCのプロジェクトの取組み状況の報告や確認、新規プロジェクト案件の検討等を行いました。通常はドキュメントを作成した協会がリード協会となつて一つのプロジェクトを進めますが、複数の協会がリード協会となつて進めるプロジェクトもあり、その場合は国際電話での会議が開催されることになっています。今後は世界4協会が参加しやすいように国際的な時間帯を考慮し、米国東部時間午前7時から、月曜日から木曜日の間に開催することが確認されました。また、CGAは4月7～12日に創立100周年記念イベントをアリゾナ州のスコッツデールで開催することが報告されました。



会議の様子

（国際部会事務局・増田 弘）

会員紹介 —土佐酸素株式会社—

土佐酸素株式会社は土佐高圧工業株式会社として、昭和18年5月に本社並びに工場を高知市長浜に置いて創立され、今年で70周年を迎えます。昭和19年には製鋼関係に必要な酸素の供給拠点として国から指定を受け、その後炭酸ガス、アルゴンガスなどへと営業範囲を広げました。現在、本社は高知市稲荷町にあり、高知工場では酸素ガス、窒素ガス、炭酸ガス、アルゴンガス並びに混合ガス（アルゴンガス+炭酸ガス）を充てんしています。また、高知県西部の宿毛市にも宿毛営業所を持ち、酸素の充てんを行っています。

高知県内唯一の医療用酸素ガス製造拠点として、平成12年3月には医療用酸素ガスの19.6MPa充てんを開始しました。県内90%以上の医療機関に医療用酸素ガス、炭酸ガス、滅菌ガスなどを供給しています。今後30年以内に60%以上の確率で起こると予想される南海トラフの巨大地震（マグニチュード9クラス）に対応して、医療用酸素ガスの供給責任を果たすため、災害時における備蓄への対応を含め、社会的使命感を持って業務に取り組んでいます。

■ NPO法人高知県高圧ガス保安協会

平成20年4月には、高知県から高圧ガス検査業務を行うことができる業界団体として保安行政に協力して欲しいとの要請を受けて「NPO法人高知県高圧ガス保安協会」を組織し、同協会理事長に就任しました。県ごとにある高圧ガス保安協会がNPO法人化されたのは全国で初めてのことです。平成21年4月からは、指定保安検査機関の認証を受け、一般高圧ガス、CE、冷凍の各分野で保安検査を行っています。高圧ガスの事故撲滅に向けてきめ細かい自主保安活動が必要な中で、県内高圧ガス事業所のご理解を得て、着実に実績を増やしているところです。高圧ガスの製造から検査まで一貫して当社の社員が担っており、特に技術に対する思いは、今後とも強く持って取り組んで行きたいと考えています。

■ JIMGAとの関わり

平成19年に日本産業・医療ガス協会四国地域本部として発足した当初より、地域本部長として、会員相互の活発な意見交換が継続できるように力を入れています。

また、RFタグへの取組みに関して、昨年夏より社内での検討を本格化させ、さまざまな方向から検討を行いました。南海地震及びその後発生するであろう大津波への対応策の一環として、



高知工場でのRFタグキックオフ

このRFタグのシステムによりデータが別の場所にバックアップされることは、事業継続の手段として大変有効であると考えています。今年3月には自社容器へのRFタグ装着を開始し、RFタグ容器管理へのキックオフを行いました。今後はRFタグ容器管理への取組みを進め、社内の容器管理体制の充実を図って行くと共に、地域内でのRFタグ普及活動を促進することにより「安全と信頼」を大切にして地域に根ざした事業に取り組んで行きたいと思っています。（土佐酸素株式会社 代表取締役社長・野村 茂）

水素ガス消費基準講習会について

水素技術WGと各地域本部の共催で、「水素ガス消費基準講習会」が平成25年2月から3月にかけて全国5カ所で開催されました（各地区の開催場所及び受講者数は右表の通り）。

受講者は水素ガスの消費者や水素ガスの製造メーカー及び販売店等多岐にわたり、全国5カ所で合計269名の方に参加して頂きました。

今回の講習会は、水素技術WGが「水素ガス消費基準」の改訂版(三訂)を平成24年8月に発行したことに伴い、水素ガスの「消費事業者」、「販売事業者」、「輸送事業者」等の方々を対象に周知徹底を図ることを目的としています。改訂版には、近年需要の伸びている〈液化水素〉の項目が追加され、また、法令改正に伴う見直し等も加えた現状に沿った内容となっています。

水素ガス消費基準講習会

期日	主催	会場	受講者数
2月13日(水)	近畿地域本部	大阪科学技術センター	58名
2月21日(木)	中四国地域本部	岡山コンベンションセンター	36名
3月7日(木)	東海地域本部	愛知県産業労働センター	31名
3月13日(水)	関東地域本部	日本教育会館・一橋ホール	79名
3月22日(金)	九州地域本部	福岡商工会議所	65名
合計受講者数			269名

資料作成&講師

講習会の資料は、水素技術WGの中から選ばれた資料作成サブWG委員7名によって、約半年をかけて作成されました。今回は〈液化水素〉の項目も追加されたことから、液化水素の燃焼や爆発に関する動画を3本加えました。動画の迫力ある映像に、受講者からも眼で見てもわかりやすいと非常に好評を博していました。

また、講習会の講師は資料作成に携わったサブWG委員7名が交替で担当しました。受講者がわかりやすいように資料にも工夫を加えたことで、自分自身の勉強にもなり、有意義であったとの声が聞かれました。

講習風景&アンケート



講習会の様子

受講者は真剣な表情で講習を清聴し、動画の部分では食い入るような眼で画面に見入っていました。水素の物性や危険性を十分に認識した模様で、質疑応答でも時折鋭い質問が飛び出し、盛況のうちに講習会が終了しました。講習後のアンケートでは「動画をもっと増やして欲しい」、「事事故例や緊急措置も入れて欲しい」、「水素ステーションの情報も入れて欲しい」などの意見があり、今後の参考にさせていただきます。この講習会が、水素を取り扱う各事業者の皆様方の事故防止・安全確保に役立てば幸いです。

最後に講習会の準備運営に協力して頂いた各地域本部の水素技術WGご担当者や事務局のメンバーにこの紙面をお借りしてお礼を申し上げます。
(水素技術WG事務局・彦坂 稔)

臨時理事会の開催について

3月11日、東京會館でJIMGA産業ガス部門臨時理事会を開催しました。産業ガス部門の理事8名、監事1名、事務局3名、三堀弁護士の合計13名が出席しました。



会議の様子

冒頭に豊田会長が「JIMGAの事業も活発となり、種々の課題が発生しておりますので、皆様のご意見・ご指摘を賜り今後のJIMGAの運営に役立てていきたいと思っております」と挨拶しました。その日は東日本大震災から丸2年となる日だったため、豊田会長の合図により出席者全員で1分間の黙祷を行いました。

その後、議事進行に移り、審議事項はなかったものの、報告事項として「電力問題への対応」、「表彰制度の運用開始」、「RFタグの今後の普及活動について」、「水素利用技術研究開発事業(NEDO事業)に関する岩谷産業様、日本エア・リキード様からの協力要請について」、「事務所移転」について事務局から説明を行いました。各理事は、電力問題に関する意見や、RFタグ普及促進策について活発な意見交換を行いました。(広報委員会事務局・和田 彰)

今後の主要日程について

今年度の主要日程をウェブサイト会員専用ページにアップしていますのでご参照ください。

このページには本部のみならず、地域本部の総会、賀詞交歓会の日程を掲載しています。

また、今年度の本部のシンポジウム及び定時総会は、JIMGA表彰制度運用開始による表彰式の開催により、例年より30分繰り上げ、それぞれ13時と15時30分の開始となりますのでご注意ください。

○ 会員ページ トップへ戻る

産業ガス部門 会員 industrial gas

- お知らせ
- 会議の予定 **ここをクリック**
- 地域本部
- 災害・事故情報
- 役員名簿
- 化学物質安全データシート、GHS対応警告表示ラベル、エコカード
- 地球温暖化対策
- 契約書モデル
- 容器管理指針

一般ページはこちらから

JIMGAnews(ニュースレター) 申込フォーム

本部 北海道 東北 関東 東海 北陸 近畿

会議の予定: 本部

平成25年 5月			
22日(水)	12:00~ 産業 14:00~ 医療	東京會館	第一回理事会・評議員会 合同会議
平成25年 6月			
12日(水)	13:00~19:00	東京會館	13:00~14:50 シンポジウム 15:30~17:10 定時総会 17:30~19:00 懇親会
平成25年 11月			
28日(木)	14:00~	メルパルク大阪	第二回理事会・評議員会 合同会議
平成26年 1月			
15日(水)	17:00~	東京會館	賀詞交歓会

(アドレス) <http://sangyo-mem.jimga.or.jp/front/bin/ptdetail.html?Part=kaigi-01>

(広報委員会事務局・和田 彰)